

Press Release

経験を宿した身体の価値を伝え、「新たな身体表現の可能性」を切り開く

【VIRTUAL NIPPON BODIES (バーチャルニッポンボディーズ) 2023】

人形浄瑠璃から鎮座DOPENESS、小林幸子までを”3D図鑑化”!

川田十夢 (AR三兄弟) 新作「バーチャル身体図鑑」公開

《公開完成披露イベント》2月11日 (土) @シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] (渋谷)

登壇者: AR三兄弟 (開発ユニット)、畑中章宏 (民俗学者)、佐藤仙務 (寝たきり社長)、石川浩司 (シンガーソングライター/元・たま) ほか

株式会社precogは、川田十夢 (AR三兄弟) 総合演出のもと、2021年より3年にわたり取り組んできた人体データのアーカイブ&発信プロジェクトの最新作品、「VIRTUAL NIPPON BODIES (バーチャルニッポンボディーズ) 2023」を2月11日 (土) より特設アプリで公開します。

前年は、舞踏家、ダンサー、義足のパラ陸上選手、10代のプロスケートボーダー、日本の奇祭の担い手、和太鼓奏者などのデータを収録し、落語の口上に合わせてスポーツと芸術、エンターテインメントとアングラが一体となる作品を制作しました。集大成となる今回は、芸能・音楽分野より、小林幸子 (歌手)、ヨネダ2000 (お笑い芸人)、鎮座DOPENESS (ラッパー)、元・たまの石川浩司 (シンガーソングライター)、伝統芸能より、いがみの権太+人形遣い (人形浄瑠璃 文楽)、音無史哉 (笙)、伝統行事より、富山のおわら風の盆 (唄と踊りの民謡)、五島列島五島市のチャンココ (念仏踊り)を新たに迎え、芸術やスポーツを含めた総勢約20名のデータの特設アプリ「社会実験」上で「バーチャル身体図鑑」として一覧公開します。【特設サイト】URL : https://theatreforall.net/virtual_nippon_bodies/



【出演者: 小林幸子さんよりメッセージ】

この活動がきっと未来のエンターテインメントの形を作っていくのだらうと思います。いつもアンテナを張って、新しいもの・おもしろいものに挑戦していきたいと思っています。昔も今も、変わらない怪しさのAR三兄弟さんとのお取り組み最高でした!

左: メインビジュアル 右: モーションデータ撮影時の小林幸子さん

躍動感ある身体たちが画面を超えて目の前に立ち現れる本作は、世界中いつでもどこからでも鑑賞できるデータならではの身体表現の可能性を提示し、「経験を宿した身体の価値」を未来に伝えていきます。アプリでは、図鑑をご覧いただけるほか、それぞれの3Dデータとモーションキャプチャー*を個別に組み合わせられる機能もあり、様々なパターンのパフォーマンスを目の前に作り出すこともできます。また、アプリを通して見ると立体的に情報が立ち現れる「標本ポスター」、身体カードと動きカードを重ね合わせると合体して図像が浮かび上がる実験的な「経験トレーディングカード」をオリジナル作品として、限定販売します。*モーションキャプチャー...関節などの人体の動作の特徴となる部位の位置と動きを記録する」ことで、人間の「動作」を記録する技術。

公開日である2月11日 (土) には、プロジェクトの出演者をはじめ、身体や文化財のデジタルアーカイブ、バーチャルイベントに関する有識者の方々をお招きしたイベントをシビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] (渋谷) にて開催します。制作舞台裏やアプリの楽しみ方のご紹介をはじめ、「デジタル身体データ」の保存と利活用をテーマにした作品制作の可能性や活用事例、今後の可能性などについて、考える1日となります。総合演出・川田十夢が司会を務める5本のリレー式トークイベントやワークショップ、展示と体験コーナーの企画をご用意。イベント予約者・ご来場者先着100名にAR機能付きの限定カードを特別プレゼントしますので、ぜひ、奮ってご参加ください。

昨今、海外をはじめ、国内でも「データをオープン化する」動きが活発になってきていますが、当初は3Dモデルの制作費用が高額であったこともあり、現在もまだその使い方が一般化されていない状況があります。今後、さらに3Dデータやモーションキャプチャーなどの技術が身近になることで進む身体のAR化により実現できる新たなアートやパフォーマンスの可能性を探っていきます。

総合演出：川田十夢よりメッセージ

人間存在を軽んじる動きが、コロナ禍の初動としてありました。劇場が開けないことを理由としたシルク・ドゥ・ソレイユ 団員の斉一解雇など、観客動員が見込めなくなったエンターテインメントや芸術にまつわる優秀な表現者たちの多くが行き場を失いました。身体と動作、これをデジタル技術で取り込んで、最良の状態アーカイブできたなら。それを新たな方法で再生できたなら状況は変化するはずだと、この方向の試みを数年間重ねてまいりました。今年は図鑑と標本、カードゲームをモチーフとしたアーカイブ+再生方式をアップデートしてみようと思います。芸術と芸能のプロデューサー各位、身体表現当事者各位、ミュージアム担当者各位、グッズ担当各位、ふるってご参加いただき、デジタルアーカイブの可能性をともに拡張できればと思います。

VIRTUAL NIPPON BODIES 2023作品概要

【アプリ配信】2月11日（土）～

お手持のスマートフォンから、特設アプリ「社会実験」をダウンロードすると、誰でも目の前で「バーチャル身体図鑑」を鑑賞できます。<https://apps.apple.com/jp/app/id1600849033>

価格：無料 ※対応機種：iPhone8以上・推奨環境：iOS13.0以上 ※本アプリはiOSのみとなります。

【「バーチャル身体図鑑」標本ポスター】

アプリを通して見ると、立体的に情報が立ち現れる特製ポスター

価格：1,650円（税込） 販売：2月11日の公開イベントにて

【「バーチャル身体図鑑」経験トレーディングカード（プロトタイプ）】※10セット限定

身体カードと動きカードを重ね合わせると合体して図像が浮かび上がる実験的なトレーディングカード

価格：3,500円（税込） 販売：2月11日の公開イベントにて

公開記念イベント

日時：2月11日（土）14:00～20:30

会場：シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT] <https://ccbt.rekibun.or.jp>

〒150-0042 東京都渋谷区宇田川町3-1 渋谷東武ホテル地下2階

※イベント予約者とご来場者は先着100名様に限定トレーディングカードをプレゼントします。

▼体験コーナー

14:00～18:00（無料・予約不要）

▼AR三兄弟と考える身体データワークショップ「ゲームか？公演か？何作る？」

身体表現のデジタルデータを活用して生み出すことができるゲームや公演アイデアをみんなで考えてみる。

16:00～17:30（無料・要申込） ※定員10名

AR三兄弟（開発ユニット）、ミヤザキユウ（ボードゲームデザイナー）、オル太（アーティスト）

詳細・申込み：<https://theatreforall.net/join/virtual-nippon-bodies-2023-workshop/>

▼身体デジタルデータをめぐる「川田十夢 総合司会 一大リレートーク」

18:00～20:30（無料・要申込）※定員40名

詳細・申込み：<https://theatreforall.net/join/virtual-nippon-bodies-2023-talk/>

はじめに VIRTUAL NIPPON BODIESとは？ 新作発表

川田十夢（AR三兄弟）

標本ポスター、経験トレーディングカード、バーチャル身体図鑑について解説

① 「ゲームか？公演か？何作る？」成果発表

ミヤザキユウ（ボードゲームデザイナー）、オル太（アーティスト）

② いつでもどこでも楽しめるパフォーマンスアーツの形って？

佐藤仙務（寝たきり社長）x島田真太郎（テクノツール代表）

③ 伝統芸能の保存と更新におけるデジタル技術

畑中章宏（民俗学）チャンココ（念仏踊り）xおわら風の盆（唄と踊りの民謡）

④ パフォーマーとしての音楽家アーカイブ

呉宮百合香（ダンス評論）x音無史哉（雅楽）石川浩司（シンガーソングライター/元・たま）

⑤ NFTでVIRTUAL NIPPONプロジェクトをドライブさせられるのか？

施井泰平（スタートバーン株式会社代表取締役）x古屋大貴（奇譚クラブ）

※トークイベントは、YouTubeにて生配信を行います。<https://youtu.be/6ZMwRT3HZLw>

出演者プロフィール（五十音順）

石川浩司（シンガーソングライター）

1961年東京生まれ。1990年バンド「たま」で「さよなら人類」でデビュー。レコード大賞新人賞受賞、紅白にも出場。現在はソロでギター弾き語りの他、ガラクタパーカッションでパスカルズ、ホルモン鉄道など8つのバンドを兼任。世界一とも言われる空き缶コレクターとして「懐かしの空き缶大図鑑」やエッセイストとして「『たま』という船に乗っていた」「すぐろく旅行のすすめ」「おとなのなぞなぞ」などの著作も多数。映画、演劇にも出演。



音無史哉（笙、雅楽奏者）

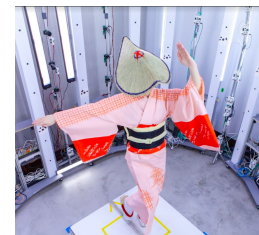
コンピュータ音楽研究時に雅楽と出会い笙を手に取る。笙、楽箏、右舞、古代歌謡を豊英秋氏（元宮内庁式部職業楽部首席楽長）に師事。古典雅楽の研鑽・演奏を重ねながら、笙や雅楽の多様なあり方を模索・提示している。

TimHeckerワールドツアー、蓮沼執太フィルほか、TV番組、ゲーム、映画、CM、ノイズ・ジャズバンドやDJとのセッション、公共空間や映像作品のための音楽など、国内外の音楽プロジェクトに参加多数。「花舞鳥歌風遊月響雅楽団」共同主宰



おわら風の盆（民謡行事）

おわら風の盆は、毎年9月1日～3日に富山市八尾地域の中心部で行われる民謡行事です。その唄と踊りの起源は江戸時代元禄のころ、町建てに関する重要文書の返済を得た祝いとして町民総出で町を練りまわったのが始まりといわれ、300年余りの歴史があります。その後、二百十日の風を治め、五穀豊穡を祈る行事に変わりいつしか「風の盆」と呼ばれるようになりました。格子戸の家並み、土蔵造りの蔵など、昔の面影を残す町並みに数千のボンボリが立ち並び、三味線、胡弓、太鼓の音に合わせて哀調帯びた唄や格調高い踊りが坂の町を揃いの法被や浴衣姿で流し歩きます。



小林幸子（歌手）

1953年12月5日生まれ。新潟県出身。1964年10歳で「ウソツキ鷗」でデビュー。79年「おもいで酒」が200万枚突破の大ヒットとなり、日本レコード大賞最優秀歌唱賞をはじめとする数々の音楽賞に輝く。同年NHK「紅白歌合戦」に初出場し、以来34回出場。近年ではニコニコ動画への投稿やボーカロイドソフトの発売などで「ラスボス」と称され、若い世代やネットユーザーからの人気も博す。



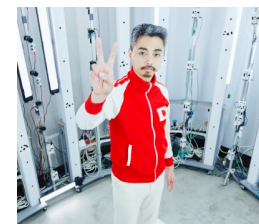
チャンココ（念仏踊り）

チャンココは、五島列島五島市に古くから伝わる伝統的な念仏踊りで、毎年お盆の時期になると、市内各地で見ることができ、「五島の夏の風物詩」となっている。チャンココという名前は、「チャン」が鉦の音、「ココ」が太鼓の音に由来するといわれ、その名の通り、花笠と腰蓑を身に付け、太鼓を抱えた踊り手が鉦の音に合わせて踊る。少なくともおよそ800年前には踊られていたという歴史があり、現在まで、各地区の青年により大切に傳承されてきた。



鎮座DOPENESS（ラッパー）

目につくもの、耳に入ってくるもの全てからHIPHOP的要素を見出して自分のスタイルにしてしまう絶対無比のオリジナル宇宙人ラッパー。DJ SKYFISHや桜井響らとのコラボレーションを経て、HIFANAやTWIGYの作品への参加やL?K?OとU-Zhaan (ASA-CHANG & 巡礼) のユニットOIGORU, TOWA TEIのREMIXへの客演等、多岐にわたるフィールドで活躍。またDJ UPPERCUTと共に米BETの人気番組“106 & PARK”の日本特集でもLIVEの模様が紹介され日本語ラップが世界にも通用する事を証明。2008年夏には、自身のクルー、“KOCHITOLA HAGURETIC EMCEE'S”としてのアルバム“HAGU LIFE”をリリースし、更なる注目を集める。



人形浄瑠璃 文楽（人形遣い：吉田簀紫郎）

人形浄瑠璃文楽は、日本を代表する伝統芸能の一つで、太夫・三味線・人形が一体となった総合芸術です。その成立ちは江戸時代初期にさかのぼり、古くはあやつり人形、そのうち人形浄瑠璃と呼ばれています。

昭和63年7月 三代吉田簀助に入門、平成3年4月 吉田簀紫郎と名のり、国立文楽劇場で初舞台

【受賞歴】平成21年4月 第37回(平成20年度)文楽協会賞、平成22年4月 第38回(平成21年度)文楽協会賞、平成24年4月 第31回(平成23年)国立劇場文楽賞奨励賞、平成29年2月 平成28年度咲くやこの花賞、平成29年4月 第36回(平成28年度)国立劇場文楽賞文楽奨励賞、令和2年3月 令和元年度大阪文化祭賞<第一部門>



ヨネダ2000（お笑い芸人）

吉本興業所属、東京NSC23期。神保町よしもと漫才劇場を中心に舞台出演している。

2022年 第43回ABCお笑いグランプリ - 決勝進出、キングオブコント - 準決勝進出、女芸人No.1決定戦THEW - 準優勝、M-1グランプリ - 決勝進出

YouTube「ヨネダ2000チャンネル」配信中(<https://www.youtube.com/@user-gv3zm7hu7m>)

誠：1999年生まれ、東京都出身。愛：1996年生まれ、神奈川県出身。



クレジット

タイトル：「バーチャル身体図鑑 VIRTUAL NIPPON BODIES 2023」

総合演出：川田十夢

開発：AR三兄弟

出演：小林幸子（歌手）、鎮座DOPENESS（ラッパー）、石川浩司（シンガーソングライター）、ヨネダ2000（お笑い芸人）、いがみの権太+人形遣い（人形浄瑠璃 文楽）、おわら風の盆（伝統）、チャンココ（念仏踊り）、音無史哉（笙）

協力：公益財団法人文楽協会

音楽：蓮沼執太

デザイン：いすたえこ

制作：TASKO inc.

バリアフリーコーディネーター：THEATRE for ALL

制作デスク：株式会社precog

広報：村上晴香

プロデュース：金森香（株式会社precog）

文化庁委託事業「令和4年度戦略的芸術文化創造推進事業」

主催：文化庁、株式会社precog

提携：シビック・クリエイティブ・ベース東京 [CCBT]



総合演出

川田十夢

1976年熊本県生まれ。10年間のメーカー勤務で特許開発に従事したあと、やまだかつてない開発ユニットAR三兄弟の長男として活動。新著『拡張現実的』（2020）、旧著『AR三兄弟の企画書』（2010）。WIRED巻末連載、J-WAVE『INNOVATION WORLD』、BSフジ『AR三兄弟の素晴らしきこの世界』、テクノコント。BTC（ブレインテックコンソーシアム）理事。公私ともに長男。通りすがりの天才。その世界のスター。ニュー文化人。



開発

AR三兄弟

長男 川田十夢、次男 高木伸二、三男 オガサワラユウによる、やまだかつてない開発ユニット。2009年から、とくにAR（拡張現実）に関するネタを連続的に発表。芸能から芸術まで、長洲剛からロマンسカーミュージアムまで。その拡張範囲はブラックホールのように、東京でいうと東急ハンズ渋谷店のように広大である。



企画・運営・配信

企画：THEATRE for ALL

国内外でのイベント企画・運営を行う制作会社 株式会社precogが、日本で初めて演劇・ダンス・映画・メディア芸術を対象に、日本語字幕、音声ガイド、手話通訳、多言語対応などを施したオンライン型劇場“THEATRE for ALL”（シアターフォーオール）を2021年2月にオープンしました。

新型コロナウイルスで外出困難となった方、障害や疾患がある方、子ども、母語が日本語以外の方、また、芸術に対して「わからなさ」がバリアとなり馴染んでこられなかった方などに対して、開かれた劇場を目指しています。

<https://theatreforall.net/>

運営：株式会社precog

国内外で実施される様々な『イベント』を成功に導くための企画や運営をおこなう制作会社です。観客やアーティストとともにワクワクするような化学反応を起こし、日々更新される“現在”の面白さを伝えていきます。precogならではのネットワークやリレーションシップを活かし、多角的な視点からのリサーチを重ねることで、作品や上演の質を上げ、プロジェクトの同時代性や事業の継続性を追求し続けています。日常にある“表現”に価値を見出し、国際的なシーンや地域コミュニティと繋がり、教育や福祉を視野に入れて、“表現”の未来をつくります。<https://precog-jp.net>



★画像一式ダウンロード★

https://drive.google.com/drive/folders/1gQr9eJXl6urw038vZXIZMFifs4zF1u5y?usp=share_link

【一般の問合せ】「VIRTUAL NIPPON COLOSSEUM」運営事務局（株式会社precog内）

Mail：tf@precog-jp.net Tel：03-6825-1223（受付時間 平日10:00～17:00）

【報道関係者の問合せ】 広報担当 村上晴香 | Tel：090-5074-2320 | harukamurakami7@gmail.com